

天にも地にも主は満ちている

遍在される神



詩篇139:7~12

139:7 私はあなたの御霊から離れて、どこへ行けましょう。私はあなたの御前を離れて、どこへのがれましょう。

139:8 たとい、私が天に上っても、そこにあなたはおられ、私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます。

139:9 私が暁の翼をかって、海の果てに住んでも、

139:10 そこでも、あなたの御手が私を導き、あなたの右の手が私を捕えます。

139:11 たとい私が「おお、やみよ。私をおおえ。私の回りの光よ。夜となれ。」と言っても、

139:12 あなたにとっては、やみも暗くなく夜は昼のように明るいのです。暗やみも光も同じことです。

神のご性質

神さまのご性質を分類するのは容易ではない。大きく分けて明白に二つの種類がある。

一つの種類は、神のみが持ち得るものであり、もう一つの種類は人もある程度持ち得るものである。ただ神さまだけが有するものを「絶対的屬性」と呼び、私たちと分有し得るものを「道徳的屬性」と呼ぶことにする。

絶対的屬性

1. 自存性

神はあらゆるいのちと存在物の絶対的な源であり、その存在や本質を神以外のどんな源にも依存していない自己存在者であられる。

それは、父がご自分のうちにいのちを持っておられるように、子にも、自分のうちにいのちを持つようにして下さったからです。

(ヨハネ5:26)

御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあつて成り立っています。

(コロサイ1:17)

2. 不変性

主であるわたしは変わることがない…

(マラキ3:6)

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。(ヤコブ1:17)

「主は変わることがない」や「イエス・キリストは同じです」(ヘブル13:8) ということばは無条件のものである。したがって、変わらないことや同じであることは、神のご性質のすべてに通ずる。

神の契約や約束は、天国の土台と同じように確かであるということを知ることは、信じる者にとって素晴らしい慰めである。

3. 永遠性

4. 遍在性

5. 全知

6. 全能

7. 主権

道徳的屬性

1. 聖

2. 義・公義

3. 愛(哀れみ、慈しみ)

4. 真実

天にも地にも満ちておられる

わたしは近くにいれば、神なのか。——主の御告げ。——遠くにいれば、神ではないのか。

人が隠れた所に身を隠したら、わたしは彼を見ることができないのか。——主の御告げ。——天にも地にも、わたしは満ちているではないか。——主の御告げ。——

(エレミヤ23:23-24)

神は天におられつつ、天と地に満ちておられる。神は、イエスがその右でとりなしをしている御座におられるが、同時にこう約束なさった。「見よ。わたしは…いつも、あなたがたとともにいます」(マタイ28:20)

今は信じる者の内に住まわれる

わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでも**あなたがたと、ともにおられます…その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられる**からです。(ヨハネ14:16-17)

神はどこにでもおられるが、あらゆる場所で**同じ意味で存在している**というわけではない。また彼はどこにでもおられるが、2人、3人が御名によって集まるところにもおられることを約束した。

昼は雲の柱 夜は火の柱

イスラエルの民が荒野にいた時、神は雲を通して御臨在を現された。この雲は、神がその民と供にいる約束の物理的現れであった。幕屋を昼夜に覆い、どこに行くかの導きであった。雲が動けば彼等は動き、留まれば停止した。

民はこれからどうすべきかという心配は必要なかった。彼らは、かの見えている主の臨在の雲に全幅の信頼を寄せていた。



神の臨在がないと、よき教えや導きもなく、全てが混乱する。クリスチャンも世の流れに従い、人々は自分勝手に振る舞い、行動する。平安も、安らぎもなく、各々が自分がよいと思う事をして、混乱している。慈しみ深い主はこんな状態を嘆いておられる。

神はキリストの十字架によって私たちの罪を赦し、永遠の滅びから救われただけでなく、あなたの中に住み、交わり、導き、神の栄光を表したいと願っておられる。

ヨシュアも神の臨在によって導かれた

あなたの一生の間、だれひとりとしてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしは、**モーセとともにいたように、あなたとともにいよう**。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。(ヨシュア1:5)

旧約聖書の出来事は私たちの内にある**神の臨在を信頼**するように励ます意味がある。**神の臨在への信頼**は恐れを取り除き、道を開き、私たちの歩みを確かなものとされる。

アサ王も神の臨在によって導かれた

神の霊がオデデの子アザルヤの上に臨んだ。そこで、彼はアサの前に出て行き、彼に言った。「アサおよび、すべてユダとベニヤミンの人々よ。私の言うことを聞きなさい。**あなたがたが主とともにいる間は、主はあなたがたとともにおられます**。もし、あなたがたがこの方を求めるなら、あなたがたにご自身を示してくださいませ。(2歴代15:1-2)

アサ王はエチオピアの百万の軍勢から神の民を奇跡的な勝利に導いた人である。その敵を散らしたのは神の臨在であった。